



31:1 それから、モーセは行って、次のことばをイスラエルのすべての人々に告げて、
 31:2 言った。私は、きょう、百二十歳である。もう出入りができない。主は私に、「あなたは、このヨルダンを渡ることができない。」と言われた。
 31:3 あなたの神、主ご自身が、あなたの先に渡って行かれ、あなたの前からこれらの国々を根絶やしにされ、あなたはこれらを占領しよう。主が告げられたように、ヨシュアが、あなたの先に立って渡るのである。
 31:4 主は、主の根絶やしにされたエモリ人の王シホンとオグおよびその国に対して行なわれたように、彼らにしようとしておられる。
 31:5 主は、彼らをあなたがたに渡し、あなたがたは私が命じたすべての命令どおり、彼らに行なおうとしている。
 31:6 強くあれ。雄々しくあれ。彼らを恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主ご自身が、あなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。
 31:7 ついでモーセはヨシュアを呼び寄せ、イスラエルのすべての人々の目の前で、彼に言った。「強くあれ。雄々しくあれ。主がこの民の先祖たちに与えると誓われた地に、彼らとともにいるのはあなたであり、それを彼らに受け継がせるのもあなたである。
 31:8 主ご自身があなたの先に進まれる。主があなたとともにおられる。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。恐れてはならない。おののいてはならない。」

ない。おののいてはならない。あなたの神、主ご自身が、あなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。」とは、なんと力強い言葉であろうかと思えます。しかし一方、これまで明らかにされてきた、従わないときのろいはなんと恐ろしいものかとも思えます。

まさにイスラエルの行く末には、輝かしい勝利か、悲惨な敗北か、その両極端が待ち受けているようです。これはまさに信仰の行く末であって、私たちには適当などちつかずなどはないのです。主に従って祝福を得るか、従わずに祝福を逃すかしかないのです。

しかし今は新約の時代であって、律法による救いではありません。主は私たちの弱さをご存知ですから、主に赦しを請い求めつつ、聖霊によって変えられつつ、御心を行ってゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

